

# 米国が0.25%の利上げ、年内あと2回の利上げを示唆

情報提供資料 2018年6月15日

米連邦公開市場委員会 (FOMC) は、12,13日に開催した定例会合で、フェデラルファンド (FF) 金利誘導目標を0.25%引き上げ、1.75~2%のレンジに設定しました。利上げは3月に続き、今年2回目となりました。また、2018年通年の利上げ見通しを4回に上方修正しました。

## ➤ 米国は「堅調な景気回復」と景気判断を引き上げ

- 米連邦準備制度理事会 (FRB) のパウエル議長は、会合後に「経済は非常に堅調に推移している」と述べ、5月の前回会合の「緩やかな」から「堅調な」へと景気判断を引き上げました。また、経済見通しでは、2018年の実質国内総生産 (GDP) の成長率 (中央値) を2.8%と見込み、3月時点の2.7%から上方修正しました。
- FOMCは、「物価の安定」と「雇用の最大化」を二大目標として掲げていますが、1日に米労働省が発表した5月の雇用統計では、失業率は3.8%に低下し、雇用者数の伸びも加速しました。また、5月末に米商務省が発表した4月の個人消費支出 (PCE) 価格指数は前年同月比+2.0%と2ヵ月連続でFRBの目標値とする2%を維持しました。

## ➤ 今年の利上げペースは、市場の見通しに近づく

- 2013年12月に量的緩和政策の縮小 (テーパリング) が決定され、2014年10月に終了しました。FRBは米国経済の回復とともに、2015年12月に9年半ぶりに利上げに踏み切り、その後は、2016年に1回、2017年に3回の利上げを決定しています。
- 今回の会合の焦点とされた利上げペースについては、2018年はあと2回 (0.5%)、2019年は3回 (0.75%)、2020年は1回 (0.25%) としました。2018年の利上げ回数予想が従来の3回から4回に上方修正されたことで、市場の見通しに近づいたと思われる。

## ➤ 2019年の利上げのタイミングは慎重な姿勢か

- 2017年から、好調な景気や原油高などを背景に利上げ観測が高まり、短期国債利回りが大幅に上昇しました。
- 金融政策のスタンスを測るうえで中立金利 (景気を過熱させず低迷もさせない) が注目されます。政策金利の長期見通しは、中立金利に近いとされており、前回と同じ2.9%でした。このまま利上げが継続されると、政策金利は来年には中立金利を上回ると予想されます。パウエル議長は、「政策金利が、FRBの考える中立金利の水準圏内に比較的早くたどりつくだろう」と述べ、利上げを継続する姿勢を強調しながらも、利上げの打ち止め時期を視野に入れ始めていることを示唆しました。
- 今回の声明文で「政策金利は当面、長期水準を下回って推移」とのフォワード・ガイダンスが削除されました。来年以降の利上げは金融政策が「緩和的」でなくなることが意識され、今後の利上げペースや利上げ打ち止めのタイミングなどについては、市場とのコミュニケーションが重視され、慎重に行われると考えます。7月4日のFOMC議事録の公表が注目されます。

## 【FRB米国経済見通し】

	2018年	2019年	2020年	長期
実質GDP成長率	2.8	2.4	2.0	1.8
PCE価格上昇率	2.1	2.1	2.1	2.0
失業率	3.6	3.5	3.5	4.5
FFレート	2.4	3.1	3.4	2.9*

(出所) FRB、\*政策金利の長期見通しは中立金利に近いとされますが、あくまでも想定外の事象が起こらないとの前提であり、変更されることがあります。

## 【米政策金利の推移】 (2015年1月2日~2018年6月13日)

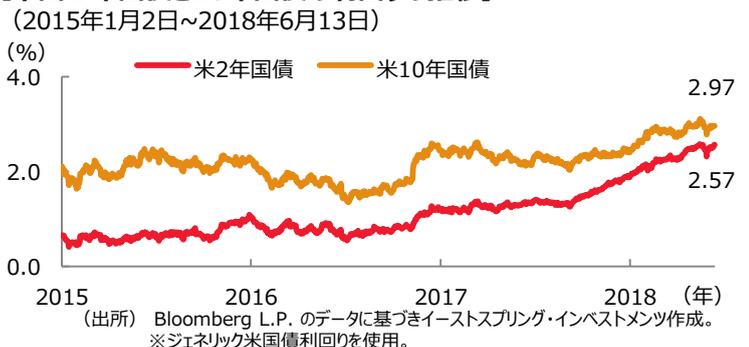


## 【FOMC参加メンバーによるFF金利誘導目標予想】

	2018年	2019年	2020年	長期
目標レンジ	2.25-2.50	3.00-3.25	3.25-3.50	2.75-3.00
中央値	2.375	3.125	3.375	2.875

(出所) FRB、上記はFOMC参加者15名による予想の中で一番多い金利予想。

## 【米国2年国債と10年国債の利回りの推移】



英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

180615 (05)